

平成20年度第4回安全・安心・生きがい部会摘録

開催日時 平成21年1月14日(木) 18時~20時

会場 区役所4階(保健所)相談室

参加委員

専門部会A委員:松世三重子部会長、荒井康男、猪股清二、菅野具江、高瀬芳江、綱川幸子

事務局:(企画課)渡邊課長、小池主査、北村主査、小出主任、齊藤職員、吉田職員

(地域振興課)花岡主査

議題

1. 「地域防犯活動の推進」の部会検討について
2. さいわい区民フォーラム2009の開催について
3. その他

1. 「地域防犯活動の推進」の部会検討について

(松世部会長)

- ・ 前回(第2回区民会議)までの確認
- ・ 検討の方向性の確認
- ・ まず取組1について、具体的な取組として、どのようなことが必要か、ご意見をお願いします。防犯活動をもっとよく知ってもらうにはどうしたらいいでしょうか。猪股会長のところはどのように取り組んでいますか。どんな犯罪が起きているのか掲示板に貼っているところもあるようですが。

(猪股委員)

- ・ うちの町会ではチラシを作って掲示板に貼るといことはしていません。防犯パトロールは、警察と一緒にやっていません。消防からは連絡が年2回ほどきますが、月3回パトロールを行っています。多くの人が出てくれます。拍子木を鳴らしながらやっているの、南河原地区では知らない人はいないのではないかと思います。

(高瀬委員)

- ・ うちのほうは年末だけ拍子木を打ってますね。音はいいですね。前にもお話したと思いますが、うちのマンション敷地内で子どもたちが泊まりこんでしまった件、2か月続けて近所の大人で見回り、その際、わざと大きな声を出して話しながら歩きました。拍子木をたたいて「回っているよ」というのが分かれば、犯罪の抑止になるのではないのでしょうか。

(松世部会長)

- ・ 拍子木をたたくことで音を出してパトロールを知らせることは、効果的ですね。自分たちで防犯の新聞を作ればいいと思ったのですが、猪股委員のところは掲示板や回覧板などで知らせなくても、拍子木でPRできている、ということですね。

(猪俣委員)

- ・ 南河原地区では月1回役員が集まるのでそこでパトロールの実施の確認を行っています。

(事務局)

- ・ 2008年1~11月で、区内の犯罪件数は前年度比で若干増加していますが、これはオートバイ盗、自転車盗が増えたことが要因と考えられます。空き巣、ひったくりは大幅減となっています。全町会にパトロールに関する調査を行ったが、やっていない町会はないのではと思います。どれくらいの頻度で行っているのかは一般には見えないかもしれませんが。

(猪股委員)

- ・ うちの地区は、夜は町会役員、朝・夕は子どもの会の役員さんなどが見回りをしています。掲示板は期待したほど効果がないのでは。

(コンサルタント)

- ・ 情報提供として、中原区の社会実験で無料開放した駐輪場を何で知りましたかというアンケートを行った。アンケートの結果、40歳代以上は、市政だよりが多かった。30歳代以下は、通りがかりにみた看板ということだった。30歳代未満だと生活の中に記されていると目にとまるらしい。あと、掲示板に防犯活動をやっていると掲示しておくだけで犯罪の抑止力になる。ここの地域はしっかりやっているところだとアピールしておく必要がある。

(高瀬委員)

- ・ ある母子家庭であるが、ある町会の公園の近くにアパートを借りて住んでいたのだが、その子どもが悪さをしてそこいずらくなり、こちらに引っ越してきたのだが、またこちらでも子どもが悪さをして町会で問題になったことがありました。私個人ではその子どもには声をかけられなかったが、町内会が連絡して警察にお願いしたことがありました。本当は、子どもが悪いわけではないのだが、少しかわいそうでした。なんとかしてあげたかったです。

(松世部会長)

- ・ 犬の散歩のときにパトロールしてもらったらどうでしょうか。いわゆるわんわんパトロールはいいアイデアだと思います。が、どこが主体になってやってくれるのか、そこが...

(高瀬委員)

- ・ 犬の飼い主さんが自発的に手をあげてくれるとありがたいのですが。

(松世部会長)

- ・散歩の時にパトロールしてくれる犬を募集するのはできるのでしょうか。

(事務局)

- ・ホームページで調べた限りですが、行政から声を掛けるパターンと、そうでないパターンがあるようです。高津区はNPO 法人が声を掛けているようです。あえてパトロールをやってもらうのではなく、普段の散歩時、何かあったら連絡してもらおうというものです。

(コンサルタント)

- ・私の知っているパトロールは、散歩時に腕章をつけて歩くことで犯罪抑止の効果をねらったものです。

(松世部会長)

- ・その腕章は犬につけるのですか。

(コンサルタント)

- ・それはいろいろです。犬にカードをつける場合もあります。麻生区の事例では、普段の買い物や通勤など生活の中で腕章をつけて歩いてください、というのがありました。

(事務局)

- ・中原区では、PTA の人が自転車で買い物などに行くときに、自転車のかごに黄色いパトロールのカードをつけてもらうところがありますね。

(綱川委員)

- ・町会は、地域のどなたが犬を飼っているかいちばんよく把握していると思うので、そちらから配ってもらってはどうか。

(猪股委員)

- ・しかし、最近は、小さな犬を飼っている人が多いですが、小型犬でも大丈夫なのでしょうか。

(コンサルタント)

- ・犬の大きさの問題ではなく、人が歩くときについでに見守りをするということです。先の麻生区の例のように通勤のついでというのもあります。

(猪股委員)

- ・若い人のジョギングのついでというの也被えられるのではないのでしょうか。

(事務局)

- ・ ホームページで見たところでは、非常に進んでいるところは会員同士が情報交換できるようにしているようです。責任者の方がメンバーに情報をメール発信していたり、月に1回八ガキで警察からの情報などを紹介したりしているようです。このような活動の発起人は、みんなきっかけがあるようです。例えばひったくりを目の当たりにしたとか。このような強い初動機があればよいですが、ないと活動が続かないということもあるかもしれません。

(高瀬委員)

- ・ 犯罪が起きる前に始めないといけないが、なかなかきっかけがないですね。まずは始めることが大切だと思います。何か負担のかからない方法でやる必要があると思います。

(松世部会長)

- ・ 腕章も取ったりはずしたりできないようなものがないのでしょうか。取ると付けるのを忘れてしまうような気がします。

(高瀬委員)

- ・ (首から下げる)名札みたいなものは? 楽ですよ。

(コンサルタント)

- ・ 麻生区では、時間がたつとだんだん腕章をつけてくれる人が少なくなっていったので、取りまとめをしている人がメールで「最近少ないので協力をお願いします」というメールを出すと、増えるらしいです。また、近隣でたとえば小学生の児童が変質者に追い回されたという情報を流すと、一気に腕章をつける人が増えるらしいです。

(事務局)

- ・ 麻生区というのは、警察からの情報発信が非常に早いです。翌日にはホームページに出ています。

(コンサルタント)

- ・ 高津区には、犯罪情報を発信するNPOがあり、登録している携帯メールへ犯罪情報が連絡されます。それによってみんなの意識が高くなります。

(荒井委員)

- ・ わんわんパトロールを依頼する際には、内容を文書化しないといけないと思います。どういうことをやるか明確にして、義務を負わせないということです。一つ目は、パトロール中に相談された場合、パトロール中の人連絡する連絡先をきちんと知らせる必要があります。犯罪を見かけたら当然警察ですが、犯罪一歩手前のときはどこへ連絡するのか? 警察、町会、市、どこなのか。二つ目に、どういふ方法でパトロール中であることを表示するのがよいかです。犬に付けるか、飼い主に付けるか。

腕章か、名札か、持ち歩くものか。三つ目に、どこの組織に頼むのか、どの組織に通すのかです。獣医師会、町内会、その両方というやり方もあるでしょう。また、愛犬家グループみたいなものもあるかもしれません。新たな組織を立ち上げるのではなく、既存の組織に協力を依頼するにはどうしたらよいかを考えたいと思います。四つ目に、モチベーションをどう維持するか、です。犯罪情報を流すとか、他の都市の活動例を流すとか。どうやって情報を配信するか。メールか、紙媒体か。

(松世部会長)

- ・新しい組織をつくるのは大変なので、既存の組織を活かすことが重要だと思います。具体的な方法については次回に検討したいと思います。
- ・続いて取組2の「青少年に関心を持ち、青少年が犯罪の加害者・被害者にならないようにする」ですが、具体的な取組として、どのようなことが必要か、ご意見をお願いします。前回、「大人の意識を変える必要がある」「あいさつから始めて打ち解ける」「子どもの相談窓口をPRする」などの意見が出ました。しかし、子どもに声を掛けることが難しいという意見がありました。綱川委員は老人クラブで活動されていますが、老人クラブで何かできることはありますか。

(綱川委員)

- ・あいさつしましょうということはしていますが、難しいですね。

(松世部会長)

- ・自然な形であいさつできればいいと思います。働いている人は、子どもの時間と合わないので、高齢者などが子どもたちにあいさつをしてもらえればいいと思います。

(綱川委員)

- ・朝は、子どもたちが同じ時間帯に登校するのでいいが、帰りは、子どもたちの帰りもまちまちなので、その都度出ていくのは大変です。

(松世部会長)

- ・何かで外に出たときでいいと思います。

(綱川委員)

- ・それはやっています。

(高瀬委員)

- ・小学生にはあいさつできるのですが、中高生にはなかなか声を掛けられないですね。特にたむろしている子どもたちは怖いですね。私が交通部長をやっていたとき子どもだった子が、成人しても「あ、交通安全のおばちゃんだ！」と声を掛けてくれるのは、うれしいですね。

(菅野委員)

・声を掛けるといふのだと学校によって違ってくると思いますが、私の地域の中学校では、順番に校門に立ってあいさつ運動をやっていました。年に1回くらい当番が回ってきます。小学校では、通学路の危なそうなところに大人が立って見守りました。中学生では、自分の子どもの友だちだと大きくなって声を掛けられるのですが、学年が違ったりすると難しいですね。

(高瀬委員)

・最近、家族で朝起きてもあいさつしないのでは。

(菅野委員)

・家族内のあいさつは常識だと思いますが。

(高瀬委員)

・今の家族は、一人部屋が多くなっていますね。親が子どもの部屋に勝手に入れられないらしいです。昔は、みんな同じ部屋に寝ていたけど、一人で部屋を持つようになってあいさつをしなくなったのではないですか。

(松世部会長)

・今、核家族になっておじいちゃん、おばあちゃんもいなくなって、両親も忙しくなかなか子どもにかかわれない状況があり、そのような背景から今は、地域で育てようということがあります。子育てにいろいろな団体がかかわっています。なんとか子どもが犯罪に巻き込まれない方法を大人が考えないといけないと思います。区民会議(全体会)では、犯罪を起こさせないお店にするとか、相談窓口の情報をインターネットで知らせたらどうかという意見が出されていますが。

(菅野委員)

・相談窓口は、学校で名刺大のカードが配られているので、ほとんどの子どもが知っていると思います。親は知らないかもしれませんが。

(松世部会長)

・今は、各学校にカウンセラーがいて、対処するようになっていきますね。

(菅野委員)

・私の地域の学校では、目安箱みたいなものを置いて悩みとか書いて入れてもらったらいいのではないかという意見がありました。

(松世部会長)

・犯罪を起こさせない店作りについて、店に協力してもらうにはどうしたらよいかは、次回検討しますので、宿題ということにします。

2．さいわい区民フォーラム2009の開催について

事務局から、資料2に基づき説明。今後、企画運営部会で内容をさらに詰めていく。
全員了承。

3．その他

次回の日程について、開催候補日を調整。
後日連絡。

以上